



# ダム

より効率的な運用を検討し、浸水被害の軽減を図ります。

## 現状の課題

- ダム等の河川横断工作物による生物の遡上・降下の阻害や、土砂移動の連続性の遮断により下流河川の一部区間で河床材料の変化を招いたことが、生物の生息・生育環境に影響を与えています。
- 猪名川の銀橋狭窄部上流域の多田地区では、昭和28年、昭和35年、昭和42年、昭和58年等水害が頻発しています。
- 狭窄部下流の山地部から平地部へ流れ出る箇所は無堤地区が存在し、ここからの浸水は伊丹地域から大阪平野北部へと広がることが予想されます。

■昭和58年9月洪水 台風10号猪名川流域浸水実績図



■昭和58年9月洪水被害状況写真



## ダム計画の調査・検討の方針

- 治水、利水面からのダムの効用は大きい。しかし水没を伴い、河川環境を大きく改変することも事実です。
- 他に経済的にも実行可能で有効な方法がない場合において、ダム建設に伴う社会環境、自然環境への影響について、その軽減策も含め、他の河川事業にもまして、より慎重に検討した上で、妥当と判断される場合に実施します。
- 狭窄部上流の浸水被害に対しては、下流堤防の破堤危険性を増大させるような狭窄部の開削は当面できないことから、既往最大規模の洪水に対する浸水被害の解消を目標として、狭窄部上流における対策を検討します。
- 長期的には、浸水被害を軽減する土地利用誘導等の実施が必要であるが、当面の被害軽減処置としては、既設のダムの治水強化、並びに流域内貯留施設の整備を検討します。
- 近年頻発している渇水に対する安全度の確保に留意します。
- 上記事項を踏まえた既設ダム群の再編成について検討します。

■銀橋を含む狭窄部と上流の市街地



## 現時点の検討結果

- 狭窄部上流多田地区の浸水被害を早期に軽減するため、既存調節池の活用、既設一庫ダムの放流操作変更、堆砂容量の活用や利水容量の振り替え及び新たな遊水地の設置が有効です。
- 既設一庫ダムの利水容量の振り替えのための貯留施設として余野川ダムが有効です。
- 余野川ダムは下流の浸水被害を軽減する効果があります。

現時点では各対策案の治水上の効果及び事業費等を概略検討し、それらの対策案について有効性を評価したものです。P17に示すとおり、今後は、現在対象としている対策案についてさらに詳細に調査・検討を行うとともに、その他、新たに考えられる案についても検討を行います。

P.17へお進みください

## 一庫ダム

### 具体的な整備内容

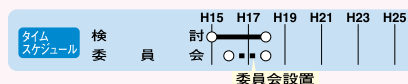
治水や利水への影響を考慮した上で、ダム下流の河川環境に対する影響を改善するために以下の整備内容を実施します。

#### 検討項目

魚類等の遡上や効果について、障害を軽減させるための方策を検討します。

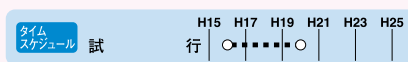
下流河川環境への影響を調査し、下流への土砂供給を実施するなど、土砂移動の障害軽減するための方策を検討します。

#### 環境 26 一庫ダム



治水・利水への影響を考慮した上で水位変動や攪乱増大を図る試験操作を実施し、適切な運用に向けて検討します。

#### 環境 32 一庫ダム



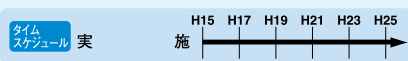
### 具体的な整備内容

#### 実施項目

ダム湖とその周辺を対象に、動植物の生息・生育実態調査を定期的に行います。

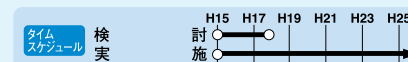
ダムからの放流の際に、下流の安全確保のため、警報装置や監視カメラを設置するとともに、自治体や警察、消防等との連携を図ります。

#### ダム 1 一庫ダム



ダム水源地域の活性化に向け、湖面の活用や周辺環境の整備などハード対策と同時に、地域イベントや催しなどのソフト対策も実施、ダムに対する理解と協力を促進します。

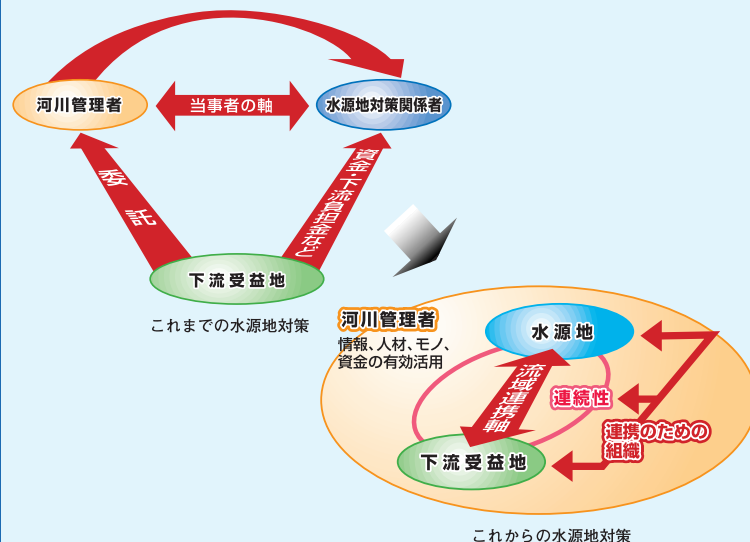
#### ダム 3 一庫ダム



■表示板（イメージ図）



ダム設備の機能維持のために計画的な補修を行い、維持管理費の削減を目指します。



#### ダム 4 一庫ダム



ダム湖に流入する流木の有効活用を図ります。

#### ダム 5 一庫ダム



ダムの再編・運用変更により、治水・利水機能向上について検討します。

#### ダム 6 一庫ダム

